

## 歯学府アドミッション・ポリシー

### ●求める学生像（求める能力・適性等）

歯学府では学力に優れていることはもちろんのこと、九州大学教育憲章に基づく秀でた人間性、社会性、国際性を有し、また医療福祉の面から奉仕精神や倫理観に富む人材を求めています。また、臨床の分野を専攻して臨床実習を行う場合は、歯科医師免許を有していることが必要です。

### ●入学者選抜の基本方針（入学要件、選抜方式、選抜基準等）

歯学府の入学要件は、基本的には（１）大学（歯学、医学又は獣医学を履修する課程）を卒業した者、（２）修士課程を修了した者、（３）外国において、学校教育における１８年の課程（最終の課程は歯学、医学又は獣医学）を修了した者としています。

歯学府では、多様な価値観をもった幅広い人材が選抜できるよう選抜方法を考慮しており、一般選抜、外国人特別選抜のほか、歯科医師として医業に従事する者や勤労しながら就学する学生にも大学院修了の道を開くべく、社会人特別選抜（昼夜開講制）を実施しています。また、大学院で修得できる学位として、博士（歯学、臨床歯学、学術）の３コースを設けており、歯科医師として医業に従事し臨床に特化する人や歯学以外の他分野出身者にも大学院入学の道を開いています。

選抜基準は、一般選抜及び外国人特別選抜では、筆記試験（英語及び志望する専攻分野科目）と面接試験の結果を総合的に判断して選抜します。社会人特別選抜では、面接試験の結果により選抜します。募集人員は、一般選抜・外国人留学生特別選抜・社会人特別選抜を合わせて４３名です。